

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

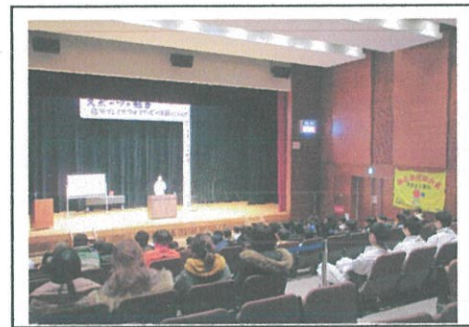
事業名	信州ブレイブウォリアーズを核とした「千曲市」と「長野市」の融合事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利法人 長野スポーツコミュニティクラブ東北 (理事長 柳見沢宏 090-8516-7025)
事業区分	教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	517,756 円 (うち支援金: 414,000 円)

事業内容

信州ブレイブウォリアーズのブースターを増やす。

千曲市と長野市が融合し、バスケット仲間を増やしたい。

- ① バスケ魅力発信事業：戸倉上山田中学校区と東北中学校区を中心に、バスケット仲間の関わりが深められるように、バスケットクリニックを開催する。地区間の交流を図ることが出来た。
- ② ウォリアーズ交流試合事業：1月21日・2月17日・3月10日・3月21日にウォリアーズ交流試合を開き、バスケットの楽しみ方を深めることが出来た。
- ③ サポーター事業：ホームコートでの応援を、1月27日・1月28日の2回実施し、熱き応援を展開することが出来た。また、チューリップ植えや、三井順氏の講演会では、118名を集客した。



【三井順氏の講演】

【目標・ねらい】

- ① 広域での関わり・連携
- ② スポーツの持つ魅力の多様性
- ③ 一体感を感じ取れる醍醐味

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① については、千曲市の体育館事情が充分でなかったことが想定外だった。6回のクリニックは、プロの技や意識を感得することができた。また、両市の関わりを深める意味でも大きな成果が得られた。本事業の盛り上がりのベースとなった。
- ② については、計画的に試合日程等を確認しあう中で、今後の展望も含めて、具体的な関わりが出来た。バスケットの意外性や連帯感の楽しみ方を深く知る機会となった。
- ③ については、ホームコートで迫力あるプレーに感動し、テレビ観戦では味わえない醍醐味となっていた。また、三井氏の講演は、バスケットの奥深さをわかりやすく伝えてもらった。

※自己評価【 B 】

【理由】

施設面でのトラブルはあったが、計画した事業は、ほぼやり尽くすことが出来た。今後、両市の関わりを状況把握しながら、発展させたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

体育館確保でのトラブルはあったものの、厳しい条件の中での両市間のやりとりが、今後の継続的な活動に生きていくことを実感している。また、クリニック・交流試合・試合観戦や講演会等で、改めてバスケットの持っている魅力の奥深さに触れる機会となった。今後も、今回の関わりをベースとして、継続的な活動を模索していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある